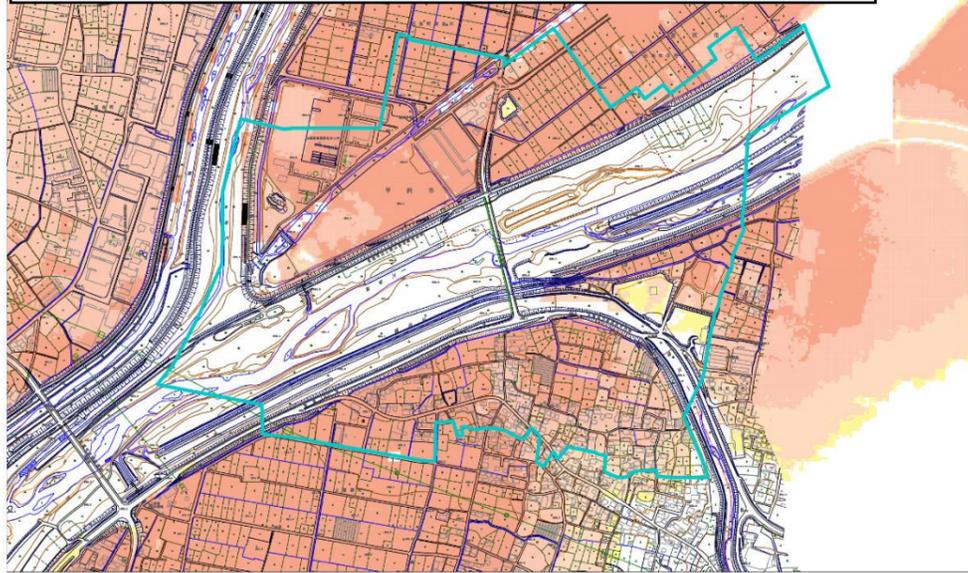


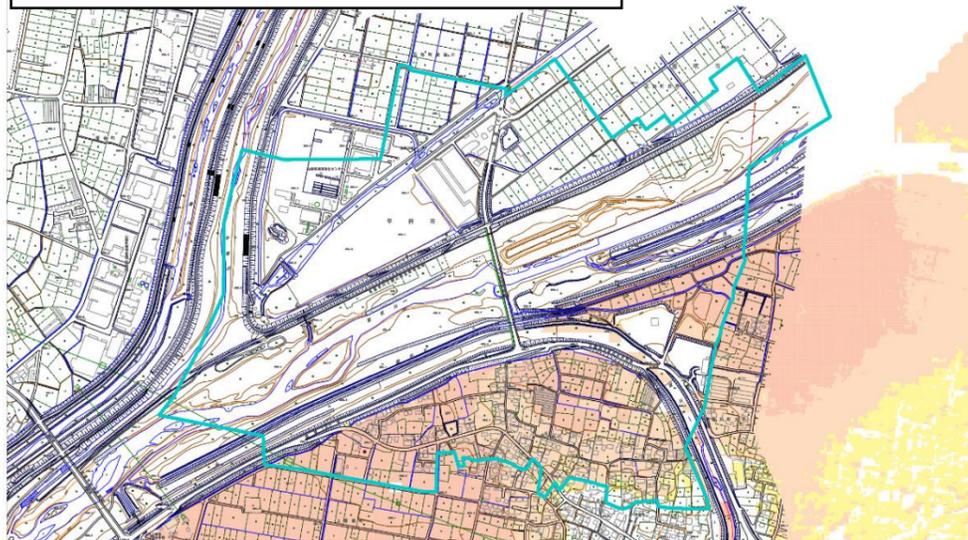
### 笛吹川洪水浸水想定区域図

(想定雨量：富士川上流域の48時間総雨量 632mm)



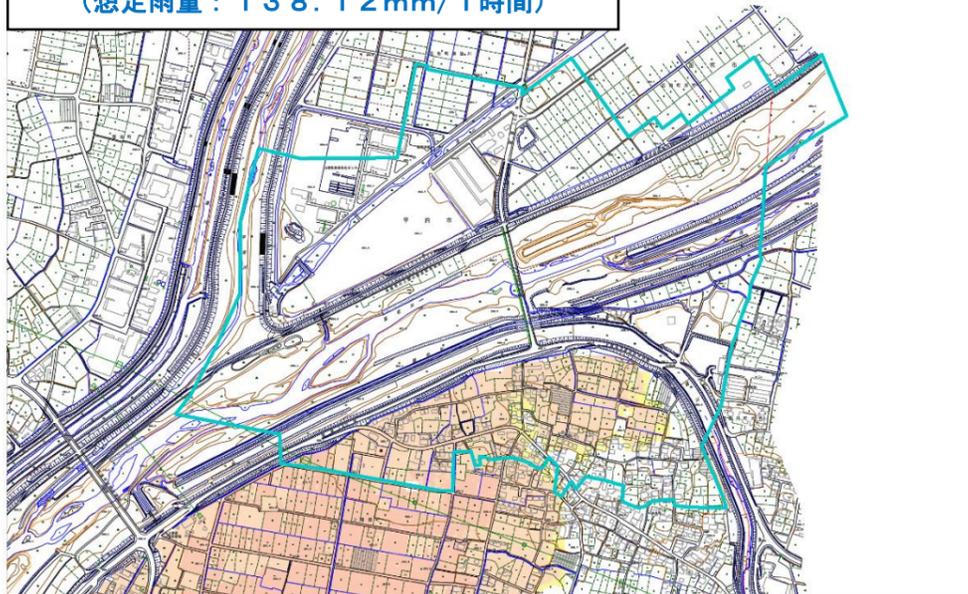
### 境川洪水浸水想定区域図

(想定雨量：142.89mm/1時間)



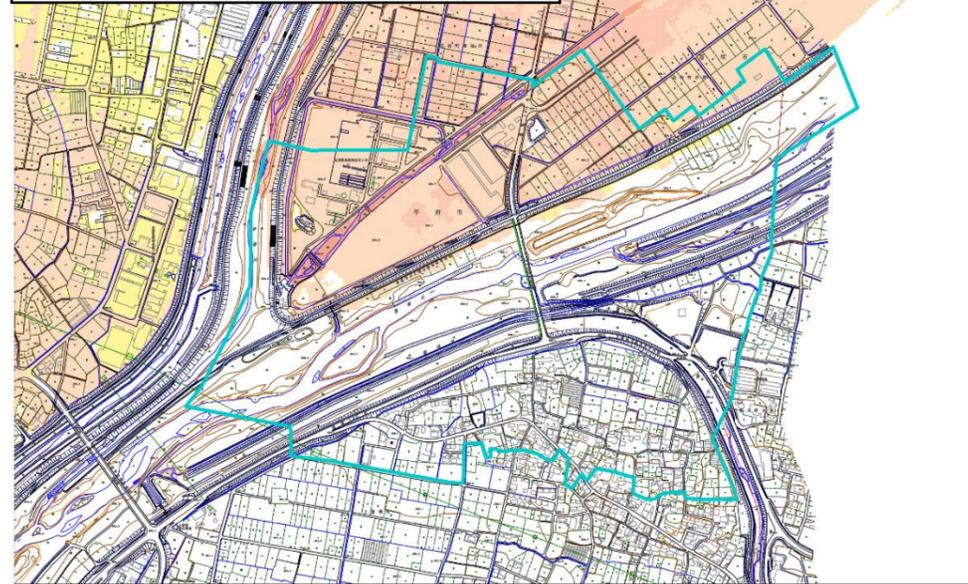
### 滝戸川洪水浸水想定区域図

(想定雨量：138.12mm/1時間)



### 平等川洪水浸水想定区域図

(想定雨量：118.79mm/1時間)



### 避難行動 判定フロー

スタート

**Step 1**  
あなたの自宅の位置は何色？

**Step 2**  
あなたの自宅は何階建て？  
(集合住宅の方は、住んでいる階数)

**Step 3**  
あなたの家庭での行動の目安

家屋流失のおそれがある区域 に自宅がある  
※木造家屋などの現行の建築基準に適合する一般的な建築物の倒壊・流失をもたらすような氾濫などが発生することが想定される一連の区域



- 10.0m~20.0m未満
- 5.0m~10.0m未満  
(3階部分より上まで浸水のおそれ)
- 3.0m~5.0m未満  
(2階部分まで浸水のおそれ)
- 0.5m~3.0m未満  
(1階部分まで浸水のおそれ)
- 0.5m未満  
(床下浸水のおそれ)

- 5階以上
- 1~4階
- 3階以上
- 1~2階
- 2階以上
- 1階

**立ち退き避難**  
洪水や土砂災害時には、大変危険な状況になることが想定されます。災害発生前の早めの避難が必要です。

**自宅に待機も可能**  
浸水しても水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分にある場合は、自宅の上層階など、浸水のおそれがない場所に待機することも可能です。

#### あなたの避難行動は？

①避難先を書きましょう。

②避難する方法を書きましょう。

#### 土砂災害警戒区域



土砂災害警戒区域内に自宅があるか？  
ある  
ない

表面の地域の水害避難マップで「自宅などを確認し、右の図から大雨時にとるべき行動の目安を確認して、避難先や避難方法を記入しましょう。  
※判定フローの内容はひとつの目安です。身の危険を感じたら、自分の判断で命を守る行動をとります。

※「家屋流失のおそれがある区域」は表面のマップでご確認ください。